



## 今年度の研究テーマ（学校課題）～第3回研究授業を終えて～

学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ児童の育成  
～言語力を高める指導法の工夫改善を目指して～

9月30日に3回目の研究授業が行われました。

2年生 国語「お手紙」の授業でした。音読劇をするという目的をもち、登場人物の気持ちを叙述に即して想像を広げながら読み進めました。そして、読み取ったことを生かしながら、場面の様子や人物の気持ちに合わせて、工夫して読むことがねらいです。文章を正しく読めるだけでなく、そこから自分の考えをもち、さらにそれを伝えるための表現の仕方を工夫して音読する力が必要になります。

### 言語力を高めるための手だてとして

#### ①言語活動のしかけ

「なりきり音読劇をしよう」という言語活動を設定しました。なりきり音読劇をするというゴールに向かって、登場人物の気持ちの読みとっていくので、児童の興味関心の継続につながり、楽しく音読練習ができました。

家庭での音読でも、「悲しそうな気持ちだから、小さい声で読もう」「急いでいる様子が表せるように少し早く、強めに読もう」など、様子や気持ちを表すためにはどんな読み方がいいかを考え、工夫した音読ができるといいですね。



#### ②自分の考えを書く活動の重視

どの子も自分の考えがもてるよう、教師の発問に対して、短い言葉で答えを書く活動を取り入れました。また、「振り返り」の時間では、誰もが抵抗なくできるように、何をどのように書くか、「振り返りの書き方」を提示しました。

書くことが苦手な子は多いです。まずは、パターンに合わせて、一部分だけ変えて書くことから始めましょう。文の始まりを決めて、その続きを考えて書いていくこともいいですね。とにかく、書くことに慣れることが大切です。



#### ③「がまくんとかえるくん」シリーズの並行読書



短編であるので読みやすく、「お手紙」以外の話でのがまくんとかえるくんの行動や気持ちの変化がよく分かり、「お手紙」の読みとりにも生かさせています。

同じ登場人物の出てくるシリーズ作品はたくさんあります。気に入った物が見つかったら、シリーズ作品を読破してみることもおすすめです。